



有松まちづくりの会役員会 (9月27日)

今後のまちづくりの会の方向性について、具体案を役員全員が発表し、総会で改正した会則にのっとり、常に活力ある有松のまちづくりに寄与する姿勢を持つことを確認しました。

まず、東海道沿いの「まちかど消火ハリアー」の設置についての協力を申し合わせました。

**「プレー有松」成果発表会 有松日本遺産推進協議会
10月9日(土) 13:30~15:30 絛会館**

名鉄 秋の有松キャンペーン 10月1日~11月30日
春のキャンペーンに続いての実施。町に人出が戻るきっかけになるといいですね。

**「絞」「瓦」灯りストリートin有松 コンソーシアム有松
9/11~10/15 中町 / 10/16~11/14 東町**
町ごとに灯りがともされています。西町を終え中町に移りました。上記の場所で幻想的な空間が引き続き見られます。



中町での灯り 松柏苑前

有松文芸のこみち① 山村幸雄

有松旧東海道沿いに7基の歌碑がある。今回は境川 Le Abollire 前にある離屋鈴木胤の歌碑を紹介。

作者 鈴木胤(すずき あきら、1764~1837)

国学者、通称常介、字は叔清、号は離屋。宝暦14年(1764)春日井郡下小田井村に生まれ、天保8年(1837)6月6日に没す。山田家に生まれるが、祖父の旧家を継ぎ鈴木姓を襲名。尾張藩士であったが、学問を好み、幼くして丹羽謝庵、12歳で市川鶴鳴に漢学を学んだが、本居宣長の国学に傾倒し、寛政4年(1792)29歳で入門、のち藩校明倫堂の教授並となる。墓石は今、東山の平和公園誓願寺墓地にある。江戸時代の墓石は剥落し、新たに建立された。



花にしきと家ごとに(誤)→
花のにしきの家ごとに(正)

原典は国学者らしく万葉仮名で書かれている。
『多知奈羅夫 波那能二志畿能以敝吾登爾 加計和多之太留 玖々里曾米迦奈』
(たちならぶ 花のにしきの家ごとに かけ渡したる くり染めかな)
癸巳仲夏 離屋鈴木胤 (一部「離屋詠草」より)

グランパスくん ようこそ有松へ (8月16日)

名古屋グランパスのマスコットグランパスくんが有松にやってきました。「旅鯨」の動画撮影とのこと。撮影に同行する機会に恵まれましたので、その様子を紹介させていただきます。

「どうして有松で撮ることにしたのか」お伺いすると、夏のホームゲーム「鯨の大祭典」で、その時だけのスペシャルユニフォームのデザインとして、有松鳴海絞りの伝統柄"鎧段絞り"がモチーフとして採用された事がきっかけとのことでした。

撮影はお盆時期。梅雨のような天気が続く中、奇跡的に雨に降られることなく曇り空の「涼しい」環境で行われました。午後、4時間程かけての撮影でした。



名古屋グランパス「鯨の大祭典」
選手服は白と黒の2種類
※フィールドプレイヤー
※ゴールキーパー



《 撮影の様子 》

絞会館前でグランパスくんをお迎えしたのは有松あないびとの会の六鹿晴美さん。日頃の町並み案内で培った笑顔と話術で「いらっしゃいませ」。絞会館の売店や資料室見学後は絞り染め体験です。久野剛資さんのサポートで手拭い程の布を赤と橙のグランパスカラーに染めました。なかなかの出来映え。



六鹿さんに挨拶 久野さんとお披露目
ゲストハウスMADOでは、トートバック作り。自作の染色布を大島美穂子さんがバックに縫い付けてくださいました。折角ですので宿泊体験も・・上手に横になれると感心していたのはオーナーの大島一浩さん。お二人の演技、堂に入っていました。



バック 頼まれる大島夫妻

寝ようかな

いよいよ有松天満社に登ります。でも長い階段の参道は大変。上の広場に着くと、早速絵馬に「みんなが元気に過ごせますように」と書いて奉納。文嶺講の鈴木章二さんはつきっきりです。

参拝後は岡家住宅へ。有松の絞商家を凝縮した建物を見学しました。あないびとの会の山本文雄さんから明治時代のお店の様子を浮世絵で紹介されたり釜場見学を通して防火に努めていたことを知らされたりしました。竹田家住宅前でお別れ。



参道 疲れた 鈴木さんと参拝

グランパスくん、有松は楽しかったかな。グランパスユニフォームやうちわを寄贈していただきありがとうございました。有松の皆さんに広く活用していただいています。



山本さんから説明 お店/釜場

楽しかった

日本遺産事業 「有松のまつり 伝承」展 (9月18日~20日)

昨年の「有松祭礼と
絞り展(9/26~10/4)」
に続き、今年も有松の
祭の展示会が有松天満
社文嶺講により行われ
ました。会場は2箇所。

それぞれの会場の展
示内容は以下の通り。

〈有松山車会館では〉



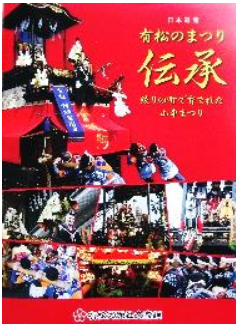
東町布袋車の展示と共に、有松ならではの豪華な絞りの祭り衣装が展示
されていました。囃子方衣装や楯方Tシャツ・半纏が素晴らしかったです。

〈棚橋家住宅では〉



祭り資料の展示が行われていました。祭りの歴史と取り組みの様子の紹
介ですが、今年は前夜祭と祭り準備の様子パネルが追加されていました。

パンフ紹介



これを手に取れば
あなたも”祭り通”

〈準備の様子〉

展示会前日、文嶺講の皆さんの設置作業に加えていた
だきました。使い込まれた衣装に触れる機会を得て、皆
さんの祭りへの想いが伝わってくる
ようでした。

数年ごとに作り替えられる衣装、
たくさんの中から展示品を選ぶのも
大変のようでした。



山車会館のお宝①

明治時代の有松の町並風景画

明治時代の西洋画家 鈴木不知 (1870~
1930)が描いた作品の一部です。

右は有松の町並みを北方の丘から大パノ
ラマで描いた3枚の絵のうち西端の天満社
周辺の部分です。芸術作品であると同時に、
有松の歴史の資料としても貴重なものです。

社殿の左下を見ると、白い大きな鳥居が
目に入ります。その左には、石橋が。その
虹橋は役目を終え、今は境内に移設されて
います。 (会報「有松」44号参照)



明治時代の有松の町並風景画
鈴木 不知 画 (明治3年~昭和5年) 61歳

町並み案内で受けた質問から④

有松あないびとの会 伊藤総俊

「Q4 古いお店の浮世絵を見ると、店先に連子格子が見られません。いつ頃から備え付けられるようになったのでしょうか？」

江戸末期から明治の頃、絞り商の繁栄ぶりと店構えを当時の一流絵師に描かせる事が流行りました。「引き札」と言われるもので、現在のポスター・チラシです。それを見ると、絞りの販売は店頭販売が主流だった事が分かります。

その頃は明治維新で、東海道の通行が減少する一方で、鉄道などによる販路が開かれ東京や関西方面の呉服商への出荷が多くを占めるようになりました。

このような卸商への商形態の変化に伴い店構えも変わり、街道に面して格子を建て込む形式に改造されていきました。つまり、現在のように1階に格子が備え付けられるようになったのは、明治になってからです。全国的な販路を拓き、街道に開かれた小売店舗というよりは重厚な問屋の構えになり商社としての性格を強めています。

現在の小塚家住宅(山形屋)→



鳴海 有松絞 山形屋



東海テレビで有松絞り紹介(9月6日)

「次世代が切り開く有松絞り」

技術力を背景に久野染工場では世界の舞台に出ようとしています。この日訪れたのはオーストラリアのデザイナー、クリストファー・ハンシーさん。この秋パリで発表する新作に有松絞りを使いたい、とこの工場に依頼してきました。グレーの生地に絞りで藍色を出すというものです。(写真上)

デザイナーのアイデアを活かし職人に伝える仲介役をしたのが、入社3年目のデザイナーの新井達也さん。久野剛資さんは「デザイナーの要望を聞くだけでなく、自分たちの技術を積極的に提案しています。培ってきた伝統技術と若い力が結びつくことで、新たな価値が生まれます」とおっしゃっていました。



ハンシーさん(左)と

新井達也さん(右)

催事・行事の予定

10月3日(日) 9:00 有松天満社秋季大祭(山車の曳行はなし) 有松天満社文嶺講

10月16日(土)~11月14日(日)の毎土・日曜日 晩秋の有松を楽しむ会 同実行委員会

10月18日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン

10月24日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会

10月25日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者: 竹田嘉兵衛 (有松まちづくりの会 会長)

編集者: 加藤 明美 (有松まちづくりの会 広報部員)

HP: pegasus@mc.ccnw.ne.jp



有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

有松のまち

検索

3 名産・有松絞

○ 有松絞の創始

資料は余り残っていませんが、竹田庄九郎が絞りを始めたことは間違いのないと思います。慶長の時移住者募集で来た人。たぶん最初に英比(あぐい)荘(後に阿久比)からやってきました。ただ、英比荘は今の阿久比・東浦を含む広いエリアです。奥さんは緒川の人。ですから東浦・緒川辺りの人ではと考えます。緒川は家康との関係もあります。庄九郎のような気概のある人物がいても不思議ではありません。本格的な絞り生産は2代目直治からではないでしょうか。

初代庄九郎(～寛文2:1662 享年73)

2代庄九郎(慶長15:1610～元禄10:1697 享年88)

○ 有松絞の広がり

有松絞が名産品となっていったのは、東海道という大動脈に面していたことでもあります。最初から尾張藩に付いていたことも大きいです。絞りの手綱を献上したり尾張藩ゆかりの定光寺に手拭いを納入したり(右写真)していました。

旅の土産として語られることが多いですが、着物など一般商品としても流通しています。江戸に大量に持っていったり大坂・京都・福井にも。商品のやり取りは、江戸では木綿問屋の扱いとなりますが、名古屋からどうやって船で送っていたのかは不明です。おそらく天保期(1840前後)以降は 有松→岡田→大野→白子→江戸 という木綿の流通ルートに乗って運ばれたのではないかと思います。

○ 有松絞の展開 《18世紀前半まで》

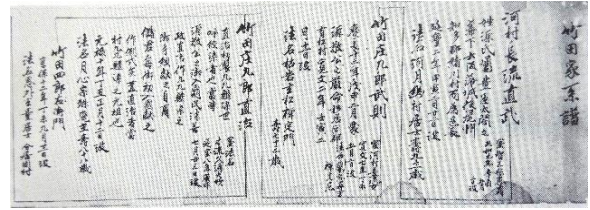
右の「尾陽寛文記」は武士の人が延享元年(1744)に書いたもの。元禄9年(1696)

「四拾九年以前元禄九年子に初而江戸江下りし時、有松村を通る、此節ハしほり染をする家二三軒も有しに、今ハ村中不残右のこんやに成り、日本国へ出し、いにしへの豊後しほりハ何のさたもなく成りし、随分上手にてはやるミせにかけたる色々しほり染、風にひるかへして花にかわらぬ其風情、旅人の眠を覚す計也」(「尾陽寛文記」)

江戸に向かったとき有松村を通り、その時絞りを生産する店は2・3軒しかなかった。今では、村中紺屋で・・・とある。1750年頃有松は絞りの最盛期を迎え、いろいろな絞り染が通行する人々を楽しませていたようです。

《18世紀半ば頃からの展開》

有松の隆盛ぶりを見て、安永年間(1770年代)に近隣村で有松絞を作る者が14名出てきました。そこで、天明元年(1781)この14名を禁止しても他で同様の事態が発生するので、上手に有松村の管理下に組み込むことにしました。具体的には20年間運上銀を出させ、その間に転業するか有松村への移住を求めるものでしたが、実現はしていないようです。



竹田家系譜



2代直治

初代武則

寛永18年(1641)絞染の手綱を光友に献上

天和元年(1681)絞染の手綱を将軍綱吉に献上



竹田吉兵衛は西竹当主

その後有松村内部にも利害対立があり、やがて文化元年(1804)絞会所を設置し印肉料を徴収することで一旦は決着しました。会所とは、同業組合みたいなものです。そこで絞りの元となる木綿に判を押して、それしか使えないようにするのです。そこには手数料が発生し、会所がいただくこととなります。20%は尾張藩に上納します。残りは皆で分け合います。単に絞問屋が流通統制をして自分達のポケットに入れるのではなく、絞り生産に関わっている人達にバックしましよという形で仕法(ルール)をたてる事が行われています。

大火(1784)を含め、天明の時期(1780年代)は有松にとって問題山積の時期でした。絞り生産は周辺を含めて一層展開し、ですから利益が期待でき利害対立が生まれるのです。大火後の復興を進める底力があつたと思います。

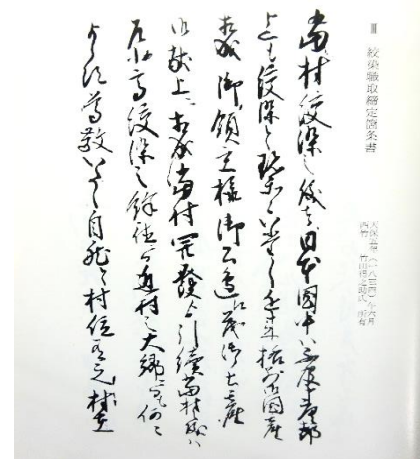
○ 19世紀以降の発展

19世紀に入ると、皆がどんどん開業するようになり、有松絞りの由緒や価値を軽視し自分勝手な商い展開するものが増えてきたので、天保5年(1834)に改革が行われました。右写真の「絞染職株定書」には次のようなことが書かれてあります。

- ・ 株仲間の結成 21軒に限定
新規参入の場合は仲間一同納得の上願出
仲間規定 など
- ・ 商売方法の規定 ①出張販売の限定
②客引きの禁止 安値の主張
③マージン・接待ほかサービスの禁止
④引札(広告)の配布禁止

特に販売方法の規定から、当時の商売の様子がイメージできます。どんな販売がいけないのか、逆に実際にやられている人がいるから規制があるわけで・・・この規定と「東海道中膝栗毛」を並べて読めば、販売の様子が想像できるのではないのでしょうか。

右の浮世絵で客引きの様子をイメージできませんか。



絞染職株定書(一部)



東海道五十三次:御油 保永堂版

4 19世紀の有松村の構造と絞り産業

有松村・有松絞業の実態や全体像を示す資料は数少ないですが、大雑把な傾向を見ていきしたいと思います。

○ 有松全体としては2極分化：資本蓄積した絞染職と依存度の高い小規模経営百姓。間口調査(文化12年1815)によれば、185軒中 平均3.15間

2割程の家で5割程の間口。6割以上の家は3間より狭い。右の表から家族構成員が1～2人の家が多くあり、生活が成り立っている。有松には絞りの仕事があることと関係しているかもしれない。多くの人は無高で絞染職から借りているようです。

構成員数	軒数	内女性
1	19	8
2	34	9
3	39	2
4	36	2
5	23	2
6	20	1
7	15	
8	4	
9	4	
10	1	
11	1	
12	2	
17	1	

○ 絞染職(絞問屋)の実態：本田は56人に年貢負担があるが実際に納めているのは12人(文化11年)。経済力のある人に求められる行為とされている。「有徳(うとく)」と言われる。

右絵図は竹田庄九郎家の屋敷図→

